

5 収支の状況

(単位：千円)

項目		令和元年度	平成30年度(前年度)	平成29年度(前々年度)
収入	指定管理料	14,336	14,882	14,637
	利用料金収入	0	0	0
	事業収入	0	0	0
	その他	220	402	524
	計	14,556	15,284	15,161
支出	人件費	7,605	7,648	7,119
	管理運営費	3,426	4,515	5,280
	事業費	2,199	1,989	1,639
	その他	1,326	1,132	1,123
	計	14,556	15,284	15,161
収支		0	0	0

6 コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	<ol style="list-style-type: none"> 1 企画展の看板、展示解説シートなどを自主製作し、コスト削減に努めている。 2 備品の修理について、可能な限り内部努力で実施することで、コスト削減に努めている。 3 自主事業において、体験学習の材料費や各種講座の資料代を参加者の自己負担としている。
サービス向上の取組	<ol style="list-style-type: none"> 1 考古学専門講座を開催し、生涯学習への意欲を高めている県民のニーズに応じている。 2 「アワコウコ楽倶楽部」と展示会や研究大会を共同開催した。 3 歴史文化遺産の保存や活用を題材としたボランティア養成講座を実施している。 4 来所者用に消毒液を常備してインフルエンザなどの流行性疾病预防に努めている。 5 埋蔵文化財センターボランティア「アワコウコ楽倶楽部」へ活動のサポートを行っている。 6 来所者が遺跡や出土品に興味を持ち、より深い知識を得るため、タブレットなどの電子端末機器を利用した情報提供を行っている。 7 矢野銅鐸や観音寺木簡の4K動画を常時放映し来館者サービスに努めている。

7 自主事業の取組状況

自主事業取組状況	<p>レキシルとくしま企画展示</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 長国の埋蔵文化財 陸 <ul style="list-style-type: none"> ・ 8/31(日)～10/13(日) 「長国の出土銭」 ・ 9/8(日) 講演会「長国の銭」 (2) 加茂宮ノ前遺跡の発掘調査成果「銅剣形石製品」特別展示 <ul style="list-style-type: none"> ・ 9/14(土)～10/13(日) (3) アワコウコ楽一品展示「歌と元号の木簡一さくやこのはな一」展示 <ul style="list-style-type: none"> ・ 4/23(火)～6/2(日) (4) 第3回四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展 <ul style="list-style-type: none"> ・ R2/1/10(土)～3/15(日) 「四国の風土と暮らし」 ・ R2/1/26(日) 第1回講座「先史時代の西南四国」 ・ R2/2/16(日) 第2回講座「遺跡の立地と地形環境」 (5) アワコウコ楽デリバリー 徳島県庁すだちくんテラス <ul style="list-style-type: none"> ・ 11/26(火)～12/13(金) 「レキシルとくしま施設紹介」 (6) 古代体験まつり 10/27(日) (7) おもしろ古代体験 <ul style="list-style-type: none"> ・ 4/27(土)、28(日)、5/3(木)、6(日) ゴールデンウィーク特別企画「勾玉づくり」 ・ 5/19(日) アワコウコ楽のいっぴん関連「木簡づくり」 ・ 5/26(日)、6/9(日) 「組紐づくり」
----------	--

自主事業取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6/23 (日) 2019発掘とくしま関連「板状土偶を作ろう」 ・ 9/15 (日) 長国の出土銭関連体験行事「鑄造体験 銭をつくろう」 ・ 2/22 (土) 第1回発掘へんろ展関連「縄文仮面づくり」
----------	--

8 管理運営業務に係る点検・評価

項 目	評 価	点 検 結 果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント毎に来館者へのアンケートを実施し、事業企画に反映させるよう努力している。 ・講座や企画展などが地元雑誌やケーブルTVに取り上げられるなど、施設のPRが浸透しつつある。 ・新型コロナウイルス対策として来所者用消毒液やマスクを常備し疾病予防対策をしている。 ・施設のキャラクター「やのまる・フンデイ」を活用した取り組みをおこない、利用者に好感をもたれている。
②自主事業 <ul style="list-style-type: none"> ・計画した自主事業の実施 	S	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵品を活かした、企画展や講座などを積極的に実施し、県民の興味・関心に大きく貢献している。 ・「発掘へんろ」は、四国内の埋蔵文化財調査機関が協力して企画展や講演会などを開催するもので、文化財の連携において先駆的な事業として県民各位より評価を得ている。 ・ボランティア組織の育成から活動支援までを一体的に実施するため「史跡ウォーキング案内ガイドプロジェクト」「万葉の草花を楽しむプロジェクト」「古代ものづくりプロジェクト」と3コースの事業を実施し、文化財ボランティア養成のための先進的な取り組みを行っている。 ・徳島県立埋蔵文化財総合センターの施設外において、埋蔵文化財センターの利用促進を図るため徳島県庁すだちくんでらすで施設紹介展示を実施した。 ・「古代体験まつり」の開催において人気企画の「ガラス玉作り」や「勾玉作り」以外に低年齢の子どもも体験できる内容を充実させたことで、多くの方が来館して楽しめる企画（ドロメンコ、弓矢作り等）を実施した。
③適正な維持管理 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・県民利用の設備については、定期的なメンテナンスを実施するなど、適切に管理している。
④収支計画 <ul style="list-style-type: none"> ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・体験学習など材料費が伴うものについては、参加者の自己負担とし、コスト削減を図っている。
⑤管理運営体制等 <ul style="list-style-type: none"> ・管理運営業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・セルフモニタリングの結果については、毎月10日までに報告書を提出している。 ・職員に対し、人権研修やAED講習などを実施している。
⑥職員体制 <ul style="list-style-type: none"> ・職員の労働条件 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・適切にイベント体験事業を実施するために、利用者サービスに対応できる人員の確保に努めている。
⑦地域への貢献 <ul style="list-style-type: none"> ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・受付案内業務等に地元シルバー人材センターを活用している。

⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	A	・センターで養成したボランティアが活動できる場の提供するとともに、自立した組織としての継続した活動の支援を実施している。 ・あすたむランド徳島との連携が図られている。
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	・危機管理マニュアルを職員全員に配布し、周知に努めている。 ・避難訓練と防火教育の一環として、消防職員による消火訓練及び講話を実施した。 ・職員にAED研修を行い緊急時の対応ができるようしている。
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	A	・館内は適温を保てるよう、適切な温度管理を行っている。 ・屋外施設へのアクセス通路や施設周辺の清掃や草刈りを職員やボランティア団体と行い環境美化に努めている。
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	・関係規程については職員に配布し周知に努めている。 ・情報公開に関する規程を設け管理体制を整備している。
総合評価	A	・埋蔵文化財の保存・活用を図り、県民文化の向上に資するという徳島県立埋蔵文化財総合センター（レキシルとくしま）の設置目的に沿って、指定管理者業務を適切に遂行している。

〈評価指標〉 S：協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
 A：概ね協定書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われている。
 B：協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。
 C：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※ 項目については、事業計画書と整合性をはかる。

9 その他（今後の課題及び対応等）

・展示施設・研修室等の指定管理対象施設を拠点とした活動を地元のボランティア団体と連携して行ったり、自立するための支援を行うなど、地域連携が図られているが、埋蔵文化財公開活用の重要性が増す今日、より一層施設の利用促進に有効な手段を考えていく必要がある。

・埋蔵文化財については、県民文化の向上、埋蔵文化財保護の観点から県民に広く公開し活用する重要性が高まっている。展示施設・研修室等の活動は、地元ボランティア団体と連携が図られ、ボランティア団体の自立に向けた支援も行われているが、より一層、施設の利用を促進する必要がある。

・体験メニューを精査し、天候に左右されないイベントの開催をする必要がある。